

写直・井上壺和

ベネッセ アートサイト直島

ベネッセホールディングスは、福武財団とともに、瀬戸内の島々を舞台としたベネッセアートサイト直島の活動を通して、アートを媒介とした地域づくりに三十数年にわたり取り組んでいます。その地域に暮らす人々とともに新しい価値を生み出し、「Benesse =よく生きる」を世界へと発信しています。



ベネッセグループ会社案内 2022-2023



株式会社ペネッセホールディングス

www.benesse-hd.co.jp/

本冊子では、FSC®認証紙を使用し、 環境にやさしい「ノン VOC インキ」で印刷しています。 この冊子の製造には、200kWh のグリーン電力を利用しています。











bene「よく」+esse「生きる」

Benesse= 『よく生きる』

Benesse。それは、「志」をもって、夢や理想の実現に向けて 一歩一歩近づいていく、そのプロセスをも楽しむ生き方のこと

私たちは、一人ひとりの「よく生きる」を実現するために 人々の向上意欲と課題解決を生涯にわたって支援します そして、お客さまや社会・地域から支持され なくてはならない企業グループとして、いまと未来の社会に貢献します

> ベネッセグループは、「Benesse=よく生きる」を企業理念に掲げ、お客さまの向上意欲と課題解決を生涯にわたって支援する企業グループです。 持続可能な社会に向けて、"いま"だけではなく、"未来の社会"に貢献していくという強い意志をもち、事業に取り組んでいます。 ※ Benesseは、ラテン語のbene(良い、正しい)とesse(生きる)を一語にした造語です。



志をもって、社会課題に正面から向き合い、 お客さまの「よく生きる」を 圧倒的にご支援できる企業であり続けるために

ベネッセグループは、1955年福武書店の創業にはじまり、 国内教育、グローバル教育、介護・保育、生活といった分野で人 のライフステージに沿った事業を展開しています。その根幹に 共通してあるのは、1990年に発表した企業理念「Benesse (よく生きる)」の存在です。

夢や理想の実現に向かって歩み続けるお客さまに寄り添い、一人ひとりの成長や課題解決を生涯にわたって応援していくこと、それが企業理念「Benesse=よく生きる(well-being)」であり、ベネッセが時代を超えてずっと大切にし、追求し続けてきた不変の哲学です。様々な方が人生の節目を乗り越え、その方らしく豊かに過ごして欲しい、その実現をサポートする商品サービスのご提供に、このベネッセの理念に共感する社員が高い志を持って取り組んでいます。

いまだ続く新型コロナウイルス (COVID-19) の影響、デジタル技術の急速な発展など社会は大きな変化が続いています。このような中、不変の哲学「Benesse」を実践し、お客さまに役立つ価値を創造し続けるためには、「自分たちは何のために事業活動をするのか (=パーパス)」という原点に立ち返り、社員一人ひとりがお客さまと社会の変化をとらえて、挑戦し続けることが重要です。社員の力を結集し、未来に役立つ力を高める新たな学びや社会人の能力開発の支援、超高齢社会に向けた介護インフラの構築、アジアを中心とした海外での教育・介護ノウハウの提供など、既存コア事業の進化と新たな領域への

挑戦を両輪で加速させていきます。そして、パーパスを中心に、「社会価値」「顧客価値」をこれまで以上に大切にし、「経済価値」とともに高めていくことを目指していきます。

そのために、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」をベネッセグループ全体でさらに推進していきます。デジタルは決して目的ではなく、手段です。テクノロジーとベネッセグループが積み上げてきた知見を活かし、よりお客さま一人ひとりの困りごとに向き合い、商品サービスの「フィット感」を高めていきます。

さらに、ベネッセグループ従業員全員を対象とした「提案制度(B-STAGE)」を2021年度にスタートしました。お客さまに一番近い現場発の問題意識やアイデアを経営が受け止め、経営と現場が一体となって、社会・お客さまの課題解決に向けた取り組みを進めています。

これまで培ったベネッセ独自の強みと社会が求めるニーズが交わる部分にこそ、ベネッセのパーパス(存在意義)はあります。今と未来の「よく生きる」社会の実現に向けて変革し、パッションを持って取り組み続けていきます。

私たちはこれからも、事業を通じて社会課題に真摯に向き合い、お客さまを圧倒的にご支援できる企業として、さらなる成長を目指してまいります。

事業活動を通じて 新しい社会価値を創造し続ける

企業理念「Benesse=よく生きる(well-being)」と「パーパス」のもと、経営とグループ従業員が一体となり、 新たな社会価値創造に取り組みます。

2022年度には「ESG・サステナビリティ推進本部」を新設、持続可能な社会づくりに貢献します。

方針

中期経営計画の実行においては、ESG・サステナビリティの観点を一層重視し、 「社会価値」「顧客価値」「経済価値」の3つの価値を軸に、社会課題の解決と ステークホルダーからの信頼向上に取り組みます。

推進体制

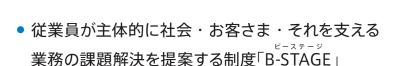
CEO・常勤取締役・カンパニー長で構成される「サステナビリティ・ESG推進委員会」を 最高機関とし、グループの全体方針を決定します。

また、専任の執行役員による推進本部を2022年4月より設置しています。

〈 ESG・サステナビリティ活動事例 〉

• 理念の浸透に向けた取り組みの強化

ベネッセのESG・サステナビリティを支える理念と、実践への起点となるパーパスを 社員一人ひとりが理解・共感し、行動への熱量とする活動を強化しています。



仕事の現場で日々感じる課題を顕在化し、現場と経営が一体となって解決していく ために、新規事業提案部門・業務改革提案部門から成るグループの提案制度を発足。 2021年度は約1,800件の応募がありました。



組織横断でのワークショップ



13件の提案がプレゼンされた最終審査会

働きやすい環境づくりとダイバーシティ推進

「人材が最大の財産」ととらえ、多様な「人財」が活躍できる職場づくり、女性活躍などのダイバーシティに取り組んでいます。

気候変動への対応の深化

従来の環境負荷の低減や環境教育の推進に加え、より環境に配慮した事業モデルの検討もスタートしています。

外部からの評価

「健康経営優良法人2022」にベネッセグループ6社が認定

大規模法人部門 ベネッセホールディングス・ベネッセコーポレーション・東京個別指導学院 ※ベネッセホールディングス・ベネッセコーポレーションは「ホワイト500」にも認定

中小規模法人部門 ベネッセビジネスメイト・ベネッセビースタジオ・ベネッセシニアサポート ※ベネッセビジネスメイトは「ブライト500」にも認定









「ベネッセグループ健康宣言」を策定し、毎年の課題分析に基づく個社およびグループ共通の健康経営施策を推進しています。

「もにす認定制度*」で優良な事業主として認定

<ベネッセビジネスメイト> *障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度



障がい者雇用を拡大する職域開発や業務改革、働きやすい環境や風土づくり、一人ひとりの社員 をサポートする体制などが評価されました(2021年12月)。

CDP 気候変動 2021 年調査においてリーダーシップレベル 「A一」企業に選定<ベネッセホールディングス>

温室効果ガス排出量削減や気候変動緩和・適応活動に対して、リーダーシップレベル 「A-」企業に選定。また、CDP2021のサプライヤー・エンゲージメント評価におい て、昨年に引き続き3年連続で最高評価に選出されました。





「製品安全対策優良企業表彰(PSアワード2021)」で 経済産業大臣賞(大企業小売販売事業者部門) <ベネッセコーポレーション>

「存在意義(パーパス)」と「5つの判断基準/10の行動基準(ベネッセイズム)」を定め、消費者の ための安全を明確にしていることなどが評価され、経済産業大臣賞を受賞しました。



■ベネッセホールディングスは、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)採用全銘柄を 含めた様々なESGインデックス(指標)に採用されています。









2021 CONSTITUENT MSCIジャパン

2021 CONSTITUENT MSCI日本株



人生のあらゆるステージを支援する ベネッセのサービス

一人ひとりの「Benesse=よく生きる」を実現していただくために、 ベネッセは、ライフステージに沿った幅広いサービスを展開しています。



乳幼児

通信教育「こどもちゃれんじ」など、子どもの発達段 階に合わせたベネッセ独自の教育サービスは、親子の ふれあいを大切にしながら、子どもの好奇心を引き出 していきます。生活習慣を身につけるとともに、知育・ 英語教育などで学びに向かう力を育み、可能性を広げ る支援をします。

こどもちゃれんじ



こどもちゃれんじ English

Worldwide Kids

ベネッセの英語教室 BE studio



ベネッセサイエンス教室

小中学生·高校生

学びのプロセスで「わかる」楽しさや自己成長の喜びを実感できるよう、学習スタイルに合わせた教材 や教育サービスを提供しています。通信教育「進研ゼミ」は成長段階・個別ニーズに合わせ、デジタルと 紙を組み合わせた講座設計で自学自習力を養い、学習塾・教室事業 では対面やオンラインを活用した丁寧 な指導で目的に合わせた教育を行い、学ぶ力を育みます。

進研ゼミ 進研ゼミ 個別指導教室

ベネッセのオンラインならいごと チャレンジスクール

GTEC Junior GTEC

Benesse お茶の水ゼミナール

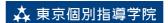
ベネッセサイエンス教室

ベネッセ文章表現教室





EVERE5



鉄緑会

ベネッセの英語教室 BE studio





学校·社会人

子どもたちの学びの場である学校や先生の支援を中心に、現場の声を活か した教材・サービス・ツールで学習指導支援や進路情報を提供しています。

また、留学や就職など人生の進路で納得した選択ができるためのサービス、 「学び続ける」社会人に向けたオンライン教育など、可能性を広げるサポート をしています。

進研模試

スタディーサポート



GTEC

Classi





マナビジョン ICTサポート

cnc+≢ bbob

dodd TETELETER DDOD

Literas 論理言語力検定





GPS-Business

ûdemy ûdemy business





ベネッセ 教育情報サイト







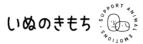


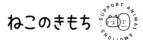
妊娠·出産·生活

「たまひよ」は出版やウェブサイト、通販事業などを通し て、妊娠・出産・育児に役立つ知識の提供や悩み相談など のサポートを行っています。

また、自分らしく豊かな生活を送れるように、さまざま なメディアを活用して家庭生活やペットとのくらしに役立 つ情報提供、コミュニティーづくりを行っています。

たまいる(学) サンキュ!





シニア

日本の高齢化が加速するなか、いくつになっても「自分ら しく生きる」毎日をサポートするために、「ベネッセスタイル ケア」ではお客さま一人ひとりに寄りそいながら、介護を中 心とした多様なサービスを提供しています。「その方らしさ に、深く寄りそう。」ことを大切にし、ご高齢者とそのご家族 の「よく生きる」を支援します。

アリア グラニー&グランダ くらら

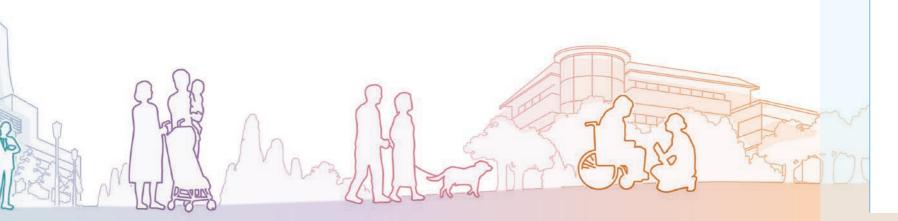
ボンセジュール

♣ リレ ベネッセのおうちごはん



看護師·介護士 お仕事サポート

介護求人ナビ



ベネッセグループの DX 推進

一人ひとりが、 「よく生きる」ためのDX

ベネッセグループは、重要な経営基盤としてDX(デジタルトランスフォーメーション)推進体制を構築。すべての事業で積極的な 活用を進め、幅広いサービスを通じて、今と未来の社会に生きる人々の「よく生きる」の実現を目指します。

専門人材による組織基盤 「Digital Innovation Partners (DIP)」

デジタルを活用した商品・サービスは教育など幅広い領 域で、すでに多くのお客さまにご利用いただいています。 こうした事業を生み出してきた社内外のデジタル人材を 組織的に活用する仕組みを整備し、各事業の最適なデジタ ル化を進めています。

共創への投資ファシリティ 「Digital Innovation Fund (DIF)」

2021年11月、5年総額最大50億円の投資枠をもつ 「DIF」を設立。教育・生活・介護領域やDX関連ベンチャー 企業への出資を行うことで、「既存事業・サービスのDX 推進」と「新規事業の共創」を目指します。



※2021年5月経済産業省の「DX認定」取得

"コア事業の進化"と"新領域への挑戦"を実現する グループのDX推進部門「デジタルイノベーションパートナーズ」を設立

たまひよ DIGITAL INNOVATION PARTNERS こどもちゃれんじ

● マナビジョン

ヘネッセスタイル ケア

dodd mana

ûdemy

進研ゼミ 進研模試

社内外の専門人材を 集結し、各事業へ派遣

- データ・AI活用
- ●生産性向上·RPA ●アーキテクチャ最適化 DX人材育成と採用
- DevOps デジタルマーケティング

ベネッセグループのDX紹介サイト ≫

https://www.benesse.co.jp/digital/

■ ベネッセのデジタル活用事例

ミライシード <ベネッセコーポレーション>



※2021年第39回IT賞

「ミライシード」は、協働学習・一斉学習・個別学習に対応し た小中学校向けタブレット学習支援ソフトです。GIGA スクー ル構想による学校教育のデジタル化に伴い、全国7,942校の 小中学校(2022年3月末)に活用いただいています。

マジ神AIソリューション <ベネッセスタイルケア>



ご高齢者の生活の質(QOL)向上を目指し、高い専門性と 実践力をもつ介護人材の知見や観点を教師データとした 「マジ神AIソリューション」の開発を推進。「人」と「テクノロ ジー」を融合させた介護 DX に挑戦しています。

数字で見るBenesse

なくてはならない企業グループを目指して

「進研模試」など延べ受験者数

全国の高校生が受験する国内最大規模の大学入試模擬試験です。 安定した母集団をもっているため、現在の正確な学力を全国レベルで 測定することができ、受験に向けた学習の具体的な対策を立てるこ とができます。

※2021年度延べ受験者数



「こどもちゃれんじ」 海外会員数



1989年から台湾、2006年から中国で 開始した「こどもちゃれんじ」事業。海外 会員数は、約105万人に達しています。 ※2022年4月時点

※中国と台湾の会員数の合計

月間平均発行部数



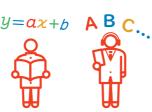
生活情報誌「サンキュ!」と、妊娠・出産・育児雑誌「た まごクラブ」「ひよこクラブ」、愛犬・愛猫と飼い主のため の生活総合誌「いぬのきもち」「ねこのきもち」は、お客 さまの声で構成する読者参加型の誌面で、家族の生活を サポートしています。

※(社)日本雑誌協会 印刷証明付き発行部数

※「サンキュ!」「たまごクラブ」「ひよこクラブ」「初めてのたまごクラブ」 「いぬのきもち」「ねこのきもち」の2021年10~12月平均発行部数



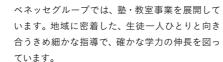




「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」国内会員数

乳幼児から高校生(0~18歳)対象の通信教育講座。一人ひとりへの きめ細かな対応に加え、デジタル技術を活用した教材・サービスによっ て、子どもの学びに対するモチベーションと学習効果を一層高めてい きます。

※2022年4月時点



※東京個別指導学院・アップ・お茶の水ゼミナール・鉄緑会・ ※2022年3月末時点(東京個別指導学院・スタディーハッカーは



約16,900人のご入居者さまが生活されています。住み慣れた 地域で暮らし続けられるよう、ほとんどのホームが都市部の 住宅地に立地しています。

※2022年3月末時点

株式会社ベネッセホールディングス

会社概要





東京本部

号 株式会社ベネッセホールディングス

地 本社/岡山市北区南方3-7-17 東京本部/東京都多摩市落合1-34

者 代表取締役社長 CEO 小林 仁

業 1955年1月28日 金 13,780百万円

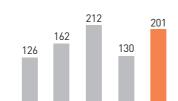
員 数 連結16,515名(2022年3月31日現在)

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場(証券コード: 9783)

業績〈連結〉

●売上高(単位:億円)

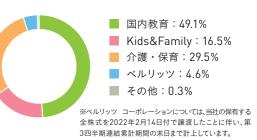




2020 2021 2022

● 営業利益(単位:億円)

●事業別売上高構成(2022年3月期)



沿革〈ベネッセグループ〉

1955 岡山市南方420番地に(株)福武書店を創立 中学向けの図書、生徒手帳発行を開始

1962 高校生向け「関西模試」を開始 (73年に「進研模試」として全国展開)

1969 高校生向け通信教育講座「通信教育セミナ」を開講

1972 中学生向け通信教育講座「通信教育セミナ・ジュニア」を開講

1980 第1次CIで「文化化・情報化・国際化」を発信 進研ゼミ「小学講座」を開講

1988 進研ゼミ「幼児講座」(現在の「こどもちゃれんじ」)を開講 台北支社を設立

1990 第2次CI でフィロソフィ・ブランド「Benesse」を発表

1991 ベネッセ・ロジスティクス・センター(岡山県瀬戸内市長船町)を竣工

1993 世界最大の語学企業、現在のベルリッツ コーポレーションを子会社化 「たまごクラブ」「ひよこクラブ」を創刊

1994 東京支社(現在の東京本部)が東京都多摩市に移転

1995 商号を(株)ベネッセコーポレーションに変更 大証2部/広証へ株式上場

1996 「サンキュ!」を創刊

1997 大証1部へ指定替え

2000 東証1部へ株式上場 介護事業の運営会社の(株)ベネッセケアを設立 介護付き高齢者向けホームの伸こう会(株)を子会社化

2001 ベルリッツ コーポレーションを完全子会社化 高校向け教材出版社(株)ラーンズを設立

2003 ベネッセグループの介護事業会社3社を(株)ベネッセスタイルケア

(株)進研アドを子会社化

Benesse Hong Kong Co., Ltd.を設立

(株)お茶の水ゼミナールを子会社化

2007 (株)東京個別指導学院を子会社化 倍楽牛商貿(中国)有限公司を設立

2009 (株)東京教育研を設立

持株会社体制へ移行

商号を(株)ベネッセホールディングスに変更

2010 (株)ボンセジュールを子会社化

2012 (株)アップを子会社化

(株)ボンセジュールを(株)ベネッセスタイルケアに合併

2013 配食サービス事業を行う(株)ベネッセパレットを設立

2014 介護相談サービス事業を行う(株)ベネッセシニアサポートを設立 (株)ミネルヴァインテリジェンス(現在の(株)ベネッセビースタジオ)

2015 (株)ベネッセインフォシェルを設立

(株)ベネッセi-キャリアを設立

2016 (株)ベネッセソシアスを設立

2019 Classi(株)を子会社化

(株)スタディーハッカーを子会社化

2021 (株)プロトメディカルケア(現在の(株)ハートメディカルケア)を

2022 ベルリッツ コーポレーションの全株式を譲渡

ベネッセグループ会社案内Web版



https://www.benesse-hd.co.jp/ ja/about/profile.html

株式会社ベネッセホールディングス



https://www.benesse-hd.co.jp/

2022年7月発行

11